

第3章 バックアップ・データ保存先

「寺務」Plus+では、入力したデータをフォルダ単位で管理しています。このためUSBメモリ等から起動したり任意のハードディスクから起動することもできますし、ネットワークで複数のPCで同一のデータを管理することもできます。

(但し、例えばUSBメモリから起動する場合でも、「寺務」Plus+ がインストールされていないパソコンでは起動することができません。)



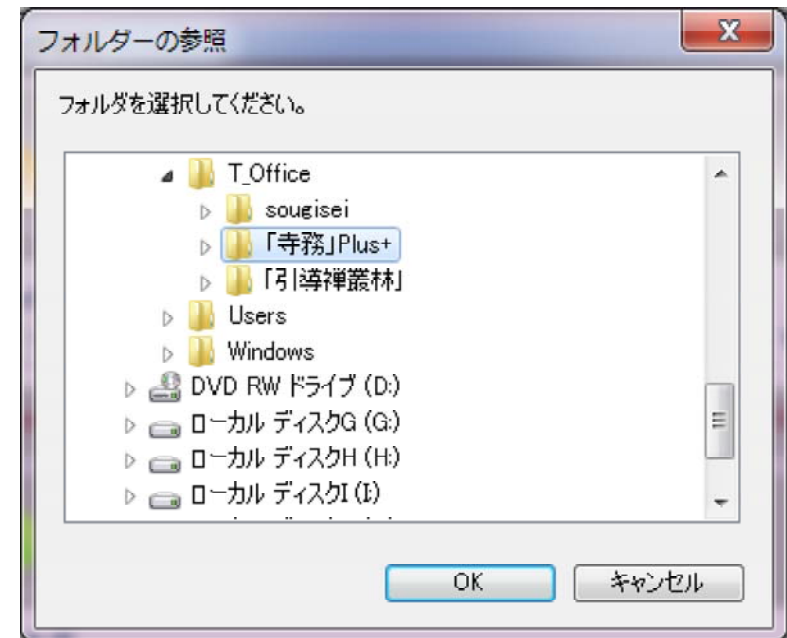
第3章 バックアップ・データ保存先

1. データの保存先

初期設定では、データの保存先は「起動フォルダ」が選択されています。「寺務」Plus+ を使用する環境がネットワークを使用して複数のPCで同一のデータを管理する場合でなければ、この設定を変更する必要はありません。

(1) ネットワーク上で、複数のPCで同一管理する方法

1. 全てのPCに「寺務」Plus+ をインストールする。
(インストールには全ての各PCでインターネットを介した認証が必要です。)
2. データの保存先となるフォルダをネットワーク上に作成する。
3. そのフォルダ内に「C:\T_Office\「寺務」Plus+」のフォルダをコピーする。
4. 「データ保存先」の設定で、起動フォルダではなく、その作成したネットワーク上の「寺務」Plus+フォルダを指定します。
指定方法は、上部の“起動フォルダ”から“指定フォルダ”に選択を移すとフォルダ選択のダイアログが表示されます。



第3章 バックアップ・データ保存先

(2) USBメモリ等から起動する場合

USBメモリや任意のハードディスクから起動したい場合は、インストール既定値フォルダの“C:\¥T_Office「寺務」Plus+”フォルダをその起動させたいメモリ等にコピーしてやり、その“「寺務」Plus+”のフォルダ内の“JimPlus”の名前のファイルをダブルクリック等で実行すれば起動できます。

このようにUSBメモリ等から起動した場合は、入力されたデータは、PCのハードディスク内ではなく、そのUSBメモリ内に保存されます。

2. バックアップ先フォルダ

「寺務」Plus+ では、データが追加・編集された状態をバックアップすることで、**そのバックアップした時点にいつでも復元できます。**

バックアップ先フォルダを変更する場合は、右下の▼ボタンをクリックしてフォルダ選択ダイアログを表示して、そこで任意のフォルダを設定して下さい。

バックアップ・復元をする方法は、下に配置されたバックアップ又は復元ボタンをクリックします。

また、**バックアップ・復元する場合は**、「寺務」Plus+ 内で表示されている**全ての台帳・印刷プレビュー等を閉じてから**行って下さい。表示されている状態でバックアップ・復元を行うとエラー表示される場合があります。

バックアップを行うとそのバックアップ日付が表示されます。

また、バックアップは、正常に動作している場合は、こまめに行うことをお勧めしますが、復元する場合は特に注意が必要です。仮にインストール後、一度もバックアップをしていない場合などは、復元ボタンを押すと入力したデータが削除され、何も入力されていない初期状態に戻ってしまいます。

入力したデータを無駄にしない為にも**誤って復元しないようにご注意下さい。**

3. その他のバックアップ方法

一般のワープロソフトなどでは、作成した文章に名前を付けてファイルとして保存するという行為がありますが、「寺務」Plus+ にはその行為なく、**基本的に新しいファイルを作成しません。**新しいデータが入力された場合は、その度、自動で更新保存され、入力したデータを含めて1つの「寺務」Plus+ として存在します。

その為、「寺務」Plus+データを管理する場合は、**ファイル単位ではなく、フォルダ単位で管理します。**

前述のようなバックアップ機能等もありますが、その他のバックアップの方法としてインストールされた「寺務」Plus+のフォルダ(初期インストールフォルダ“C:\¥T_Office¥「寺務」Plus+”)を他のメディア(USBメモリ・外付けハードディスクなど)にコピーすることで、バックアップを行っておくことを推奨いたします。